

SUNTORY

TOPPAN

飲食店様向けフェイスシールド開発について

2020年10月13日

サントリー酒類株式会社
凸版印刷株式会社

代表取締役社長
取締役専務執行役員

山田 賢治
新井 誠

日本の外食は世界に冠たる日本の文化

人々の心に潤いをあたえてくれる
人と人の「つながり」を感じることができる



おもてなしの心



大切な人と語りあう時間
みんなと笑いあえる場所

サントリーの外食に対する想い

飲食店様にブランドを育てていただき、
一緒に新しい飲酒文化を創造

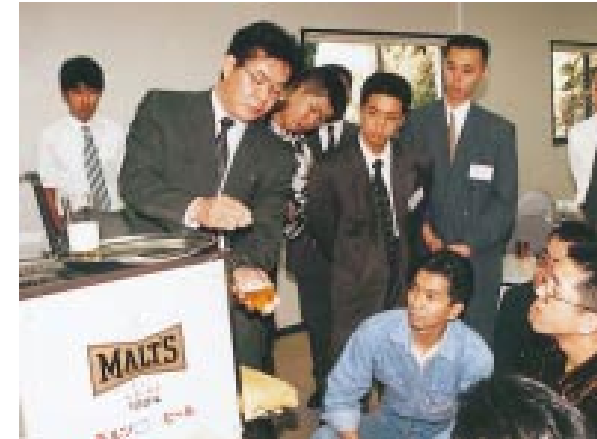
1950年代:トリスバー



2008年:角ハイボール



品質にこだわった活動



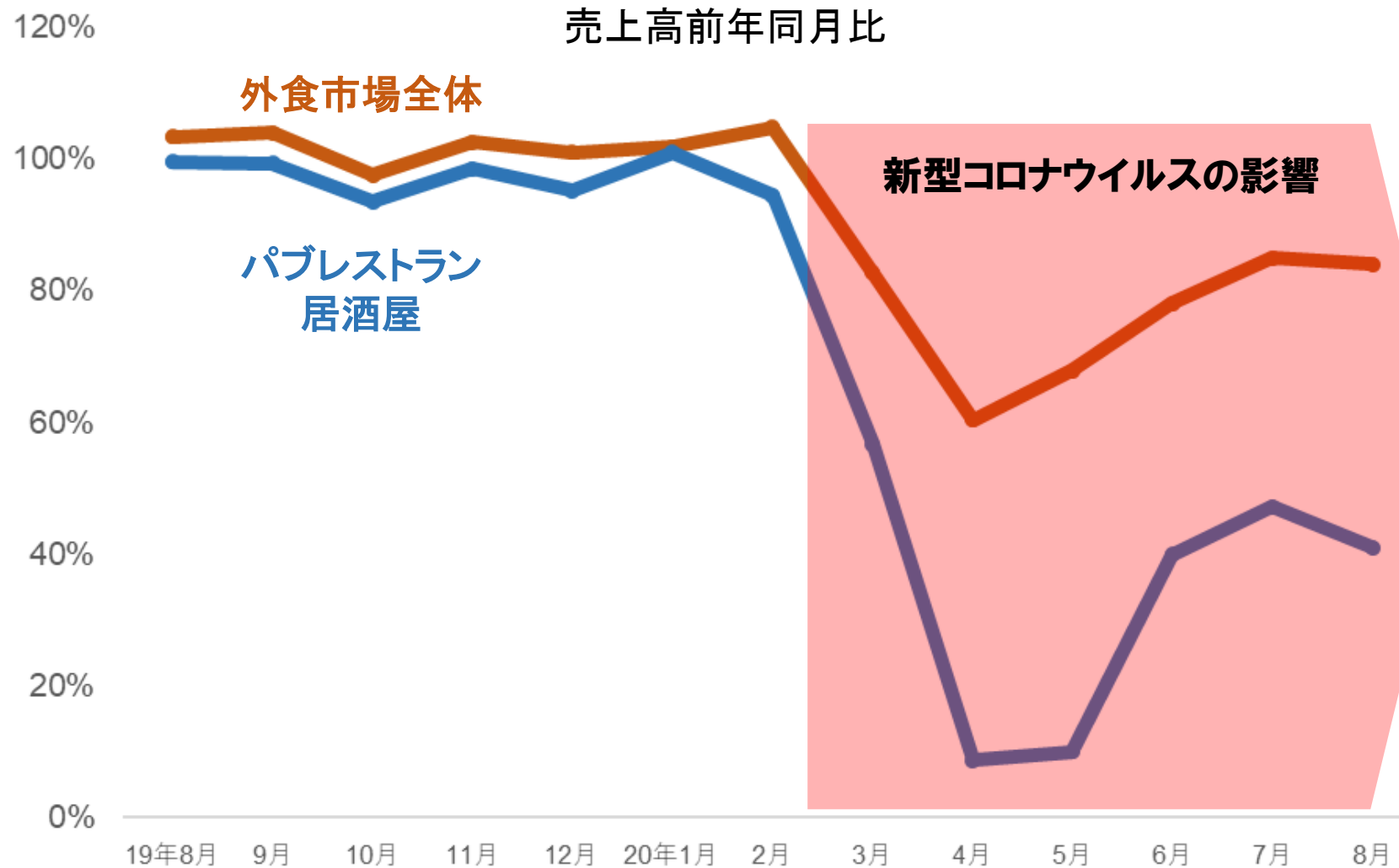
日本の洋酒時代
を拓く原動力となる

ウイスキー復活
のきっかけとなる



新型コロナウイルスによる飲食店様への影響

3月以降、外食市場全体が新型コロナの影響を受け
特にお酒を主体とした飲食店では大きな影響を受ける



飲用時の品質にこだわる活動

お客様に喜んでいただく為に、
最高に美味しい状態でご提供いただく活動を推進



《飲用時品質向上活動》



コロナ禍での飲食店様を応援する取組み

サントリー×「さきめし」飲食店応援プロジェクト



実施期間:5/25~9/30

食事代の先払いにより
お気に入りの飲食店を支援

食べて、飲んで、元気を。キャンペーン



実施期間:7/6~8/31

来てくれたお客様に
「ありがとう」を伝える

フェイスシールドの開発

SUNTORY

想い

飲食店様を応援する為に、
飲食の場に適した感染対策はないか

フェイスシールドの開発開始

《開発にあたり重視したポイント》

簡便さ
(装着、使用)

飲食のしやすさ

表情が見える

見た目

運用面

課題

科学的検証ができない

理化学研究所様と協働に至った経緯

《新型コロナウイルスに関する研究》

理化学研究所 計算科学研究センター
RIKEN RCCS RIKEN Center for Computational Science

Facebook Twitter Instagram English

トップ | 計算科学研究センターとは | 研究成果 | 「富岳」について | 「京」について | イベント・広報 | もっと知りたい

スーパーコンピュータ「富岳」開発
—フラッグシップ2020プロジェクト

トップ・スーパーコンピュータ「富岳」について | 【特集】新型コロナウイルスの克服に向けて

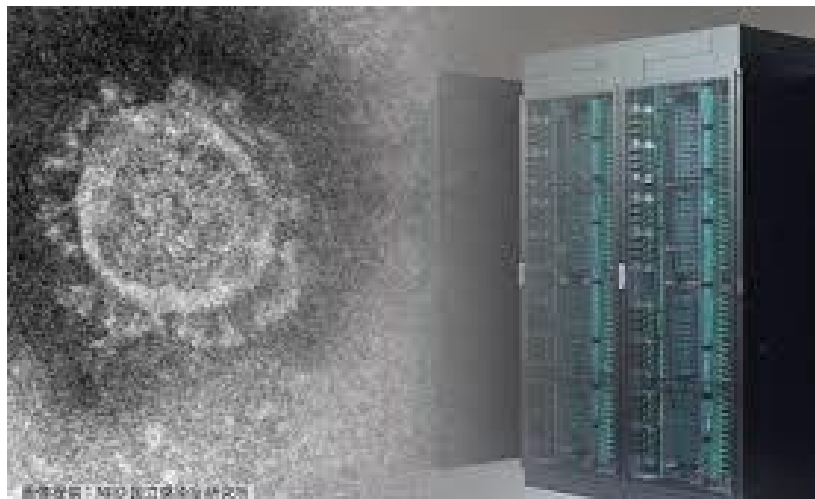
【特集】新型コロナウイルスの克服に向けて

- 実施している研究詳細と成果
- 研究理想集について
- 関連リンク
- スーパーコンピュータ「富岳」プロジェクト
- スーパーコンピュータ「富岳」開発概要

【特集】新型コロナウイルスの克服に向けて

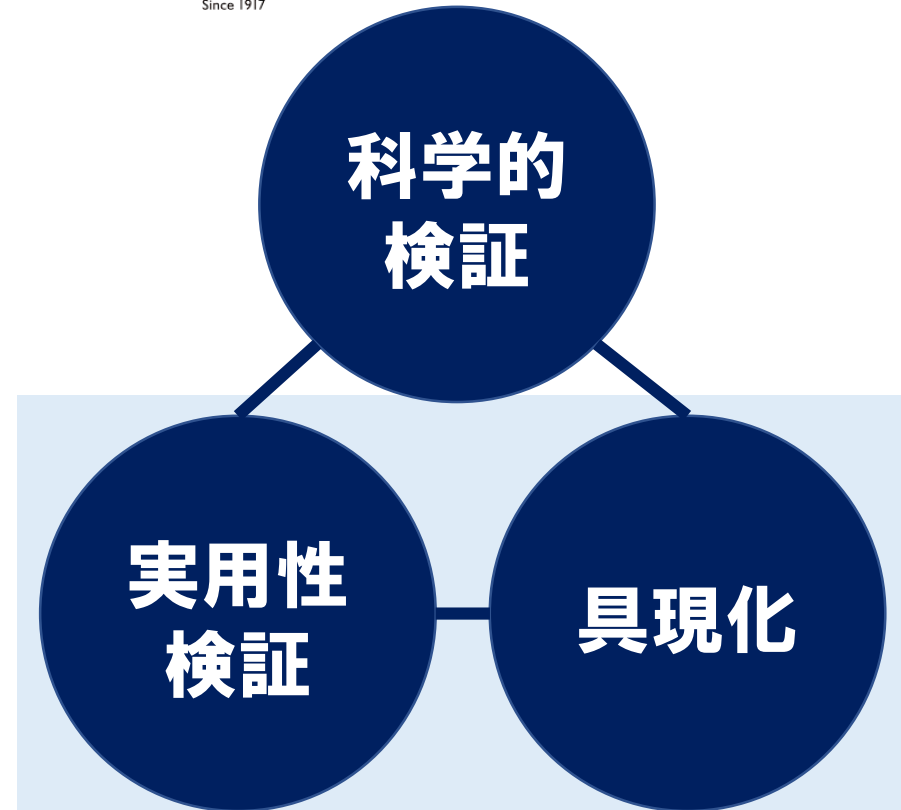
理化学研究所は、文部科学省と連携し、新型コロナウイルスの対策に貢献する研究開発にスーパーコンピュータ「富岳」の計費費を供出することとし、2020年4月7日にプレスリリースを行いました。

プレスリリース：『新型コロナウイルス対策を目的としたスーパーコンピュータ「富岳」の優先的な実行的利用について』



《三者の役割分担》

理化学研究所
RIKEN
Since 1917



SUNTORY
TOPPAN

アセスメント調査に関して

《調査内容》

《実施風景》

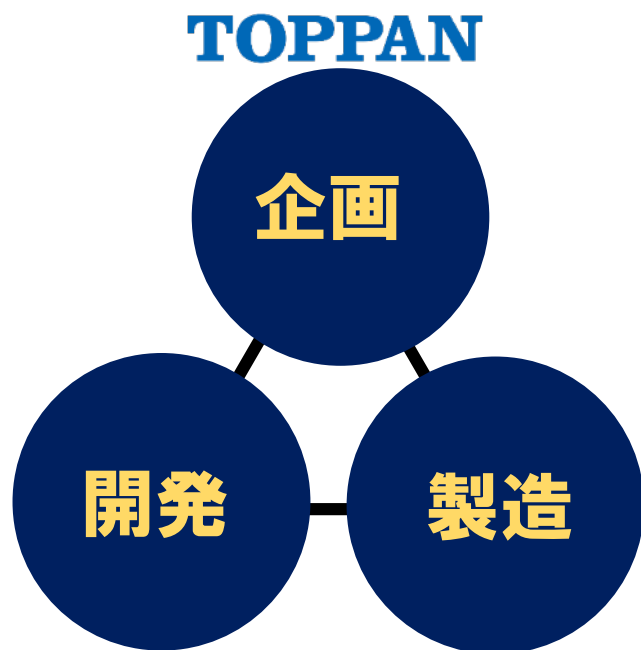
<p>主旨</p>	<p>飲食シーンでの消費者、店舗従業員の声を聞くことにより、実用性を検証する</p>
<p>アセスメント項目</p>	<p>安心感 衛生面 利便性 運用面</p>
<p>調査方法</p>	<p>店内調査(飲食時消費者インタビュー)</p>
<p>ヒアリング事項</p>	<p>■来店時にインタビュー(約10項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印象(安心感があるか?) ・使用感(便利かどうか?) ・これがあれば、外食行きたいか? など <p>■上記アセスメント項目に沿って 5段階評価とフリーアンサーにて回答</p>



飲食店様向けフェイスシールド開発について ～凸版印刷の役割～

凸版印刷株式会社
取締役専務執行役員
情報コミュニケーション事業本部長
新井 誠

凸版印刷は「新型コロナウイルス」という社会課題に対し これまでも、さまざまな取組みを行ってきました



ソーシャルディスタンスツール



消毒液ボトルスタンド



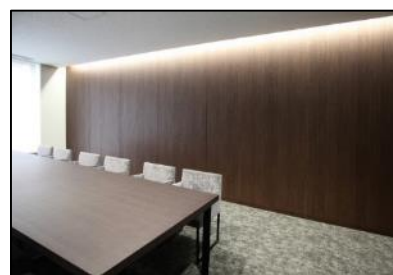
パーテーション



抗ウイルス対応パッケージ



抗ウイルス・抗菌加工化粧シート



遠隔対応ソリューション



サントリー様の開発パートナーとして
飲食に特化したフェイスシールドの開発に取り組んでいます

飲食時に相応しいフェイスシールドの検討

利便性

- ① 簡便さ(装着、使用)
- ② 飲食のしやすさ
- ③ 表情が見える
- ④ 見た目
- ⑤ 運用面



安全性

- スーパーコンピューター「富岳」による
理化学研究所様、坪倉チームの
- ⑥ 研究成果を踏まえた形状の検討

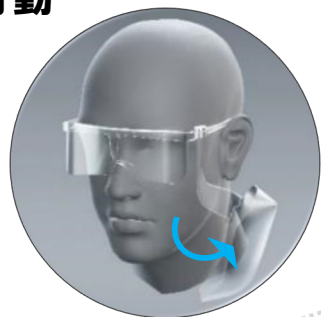
“利便性”と“安全性”を踏まえ具現化

①簡便さ(装着、使用)

メガネタイプの装着方式で
誰でも直感的に、簡単に着脱可能

②飲食のしやすさ

飲食時はワンタッチで
口鼻前のシールドが可動



③表情が見える

フレーム・シールドともに透明素材を採用



④見た目

フレームパーツを極力削減し
見た目に配慮

⑤運用面

シールドパーツは簡単に
着脱が可能

⑥安全性

理化学研究所様の検証をふまえた
シールド構造の検討



※画像はプロトタイプです

引き続き、理化学研究所様・サントリー様と協働し、開発を推進



理化学研究所

**日本の外食は世界に冠たる日本の文化
その文化を守りたい**

SUNTORY

TOPPAN



理化学研究所 **SUNTORY TOPPAN**

どなたでも生産・ご利用できるよう
**最終的な設計情報を
オープンデータ化**